

高速道路で生鮮食品が買える

ネクスコ東日本管内最大規模の敷地面積を誇るSAとして、今年7月にオープンした蓮田SA(上り線)。併せてオープンしたのが、ネクスコ東日本の商業施設のフラッグシップとなる「Pasar(パスアル)」だ。

「PasarはSA・PA本来のサービスに加え、ご当地グルメなどバラエティ豊かなサービスを提供する商業施設。7か所目となるPasar蓮田(上り線)は、加えてこれまでにないコンセプトを持っています」

そう語る猪俣理恵総館長補佐が「初の試み」として紹介してくれたのは、生鮮食品を扱う「旬撰市場」だ。魚の干物がみやげとして用意されていることはあるが、青果、精肉、鮮魚を扱うSAはほかに例を見ない。

日常使いができるSA

蓮田SA(上り線)は東北自動車道で最も東京寄り。店舗づくりは、そのロケーションを意識したという。「最後の休憩ポイントということは、あとは帰るだけ。では、帰宅後の夕飯は? 高速道路で夕飯用の買物ができれば便利だと思いませんか?」スーパーマーケットのようなSAがあれば、利用者の日常をさらに彩ることができる。それが旬撰市場の

背景となった。加えて、地域に開かれた施設にしたいという思いもある。「だから、一般道からのアクセスをスムーズにしようと、92台分の駐車場を整備したんです」

沿線の東北名物が勢ぞろい!

Pasar蓮田のもう一つの特徴は東北の名物がそろっていることだ。「仙台の名店、牛たん炭火焼利久(りきゆう)」は高速初出店。こちらは別棟の建物になっているので、落ち着いた雰囲気です。近隣の方には外食感覚でご利用いた

だきたいですね。またおみやげを扱う旬撰倶楽部には東北各エリアから名品をそろえました」

地元名店とのコラボでは、「ひのでや食堂」の定食や、「翁の郷」の肉汁うどんを味わってほしいという。

「明治18年に蓮田で創業した老舗ブロードユースの定食は、地元食材を生かしたメニュー。ここでしか味わうことができませぬ」

日常的な買物も東北グルメも楽しめる、スペシャルな商業施設Pasar蓮田(上り線)。高速道路の施設の新しい在り方を指し示している。



ハイウェイを 支える人々

Vol. 42

高速道路の裏側に潜入

去る7月29日にオープンした、Pasar蓮田(上り線)。ネクスコ東日本管内の商業施設として、さまざまな「初めて」があるという。その魅力を猪俣総館長補佐に聞いた。



ネクセリア東日本株式会社
関西支店 Pasar蓮田(上り線)
総館長補佐
猪俣理恵さん



2



1



4



3

- 旬の果物や新鮮な生鮮食品が並ぶ「旬撰市場」
- 「牛たん炭火焼利久」の定番、牛たん極み定食(2,494円税込)。
- 「翁の郷」肉汁うどん(850円税込)と「ひのでや食堂」ひのでやカレーライス(650円税込)
- 東北名物が揃う「旬撰倶楽部」